

かながわ開発教育センター（K-DEC）【Cタイプ】

【団体の目的や概要など】

活動の目的 神奈川ならではの開発教育、
地域だからこそできる開発教育の実践を目指して、
各種セミナーやワークショップの企画・運営、講師派遣、
教材開発などを行っている。
地域の「現場」を知り、当事者と共に、
また、当事者として考える、学びの輪を広げていきたいと考えている。

※「開発教育」とは

「格差」「開発」「環境」「人権」「平和」など、グローバルな課題について学び、その解決方法を考え、行動することを目指す教育・学習活動。ワークショップ、スタディ・ツアーなどの“参加型”の学びと社会との具体的な関わりを重視するところに特徴がある。

会員 約100名（運営委員 17名、専従職員 なし）

【現在の活動内容】

主な活動地域 神奈川県内

活動の内容

- 1 セミナー等の企画、運営**
「かながわ地球市民塾（神奈川で、出会い・語り・互いの経験に学びあう場）」
「DokiDokiワークショップ研究セミナー（ワークショップの作り方、進め方を学ぶ）」のほか、神奈川の市民団体やJICA横浜などとも協力しながら、イベント・セミナーを開催している。
※過去の「かながわ地球市民塾」のテーマ
・モスク見学会
・中華街を歩いて、「教材」をつくろう
・神奈川の漁港を訪ねる
・寿みんなの落語会 など
- 2 講師派遣、企画相談**
地域の学びをサポートするため、K-DECの理事、運営委員など、開発教育の実践者を講師として派遣している。また、さまざまな企画の相談にも応じている。
※講師派遣実績
東京外国語大学、東海大学、神奈川県立神奈川総合高校、神奈川県立横須賀高校定時制、川崎市立橋高校、鎌倉女学院高校、横浜市立南高付属中学校、横浜市立能見台小学校PTA、地球市民かながわプラザ、かながわ国際交流財団、仙台国際交流協会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、藤沢市教育委員会、東京都中央区教育委員会、JICA東北・筑波・横浜・駒ヶ根・大阪・中国・四国・沖縄他、国際協力NGOセンター（JANIC）他、年間40件程度
- 3 教材開発**
“神奈川ならではの”の開発教育のユニークな教材を開発し、いろいろな学びの場で提案している。ホームページから無料でダウンロードできるものもある。

活動日や活動場所 とくに決まっていない